

オープンアクセスリポジトリ推進協会
第4回 JAIRO Cloud 共同運営本部（2025 年度）議事要旨

日 時：2025 年 10 月 2 日（木）15:30-17:00

場 所：オンライン会議（Webex）

議 事：

1. 機関リポジトリシステムへの要望のとりまとめと精査（審議）
2. JAIRO Cloud 作業部会の活動報告（報告）
3. JAIRO Cloud に関する近況報告（報告）
4. 意見交換
 - a. JPCOAR が必要とするリポジトリについて
 - b. JPCOAR による運用体制の見直しについて
5. その他

資 料：資料 1 第 4 回 JAIRO Cloud 共同運営本部出席者名簿

資料 2 第 3 回 JAIRO Cloud 共同運営本部議事要旨

資料 3-1 JAIRO Cloud 要望の精査について（2023 年 6 月～2025 年 5 月分）

資料 3-2 機関リポジトリシステムへの要望のとりまとめ（要望リスト）

資料 4 JAIRO Cloud 作業部会活動中間報告

資料 5-1 JAIRO Cloud の近況報告

資料 5-2 2025 年度図書館総合展企画

資料 6 JAIRO Cloud 今後の方向性について

参考 JAIRO Cloud 共同運営本部規程

出席者

氏 名	所 属 機 関 ・ 役 職	備考
斎藤 未夏	筑波大学学術情報部長	
石津 朋之	筑波大学学術情報部情報企画課リポジトリ係長	
前田 朗	東京大学工学系・情報理工学系等情報図書課長	
高橋 菜奈子	新潟大学学術情報部長	本部長
次良丸 章	東海国立大学機構名古屋大学附属図書館事務部長	
杉田 茂樹	京都大学附属図書館事務部長	
大園 岳雄	鳥取大学研究推進部図書館情報課長	
梅田 順一	明治大学学術・社会連携部図書館総務事務室事務長補佐	

鈴木 恵津子	星薬科大学図書館	
林 正治	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター 特任准教授	
細川 聖二	国立情報学研究所学術基盤推進部次長	
首東 誠	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長	
林 豊	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課副課長	

欠席

前田 朗	東京大学工学系・情報理工学系等情報図書課長	
谷藤 幹子	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター長	

陪席

坂本 拓	国立情報学研究所 学術基盤推進部 図書館連携・協力室 係長
------	-------------------------------

作業部会員等（陪席・順不同）

南雲 修司（東京学芸大）、石井 百葉（横国大）、青木 綾乃（信州大）、野田 晶子（金沢大）、楫 幸子（安田女子大）、林 賢紀（国際農研）、田辺 浩介（NIMS）、鹿沼 智美（NII）、三村 千明（NII）

国立情報学研究所

古橋 英枝	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 係長
増山 廣美	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課主任学術基盤技術専門員
杉山 美紀	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課学術支援技術専門員

尾崎 仁美	オープンアクセスリポジトリ推進協会
相原 雪乃	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課特任専門員

議事要旨

1. 機関リポジトリシステムへの要望のとりまとめと精査（審議）

資料 3-1、資料 3-2 に基づき石津本部員から説明があり、取りまとめた要望リストについて、次のように対応することとなった。

- ・ 会員機関からの要望全体を取りまとめたリストを NII に提出する。
- ・ リストは要望の内容によりア～ウに仕分けしており、このうちア及びイについて、NII での対応の検討を要請する。検討の参考として各項目に優先度をつける。

また、次の質疑応答、意見交換が行われた。

- ・ このリストは、メーリングリストに寄せられたものを取りまとめたものであるが、現場の意見を聞いたところでは、ここに挙がっていない本質的な要望があるはずである。例えば、サーバーが遅くて業務効率が悪い、サーバーの応答を待っているうちにエラーになる等の改善などである。NII の図書館総合展フォーラムの事前アンケートを見ても深刻な要望を感じた。
- ・ 優先度が高いものに取り組んでいただきたいが、対応することで他のことが難しくなるようなことは避けていただきたい。
- ・ 「イ-2. 機関ごとのカスタマイズ性を高める方向の要望」及び「イ-3. 希望する機関が限定される」は、要望であるが優先度は高くなく、これに対応するために全体のバランスを崩すようならば、それは望むところではないと伝える。
- ・ 要望を出した機関へ、これら対応について伝えることは予定されているか
 - まずは現時点のものを参加館向けに整理して伝えることとしたい。

2. JAIRO Cloud 作業部会の活動報告（報告）

資料 4 に基づき、石津本部員から、作業部会会合、Notebook LM 情報収集、Code4Lib Japan カンファレンス 2025 での発表、私立大学図書館協会 西地区部会 中国・四国地区研究会講師派遣、地域ワークショップ@群馬講師派遣等、作業部会活動の中間報告があり、次の質疑応答が行われた。

- ・ Notebook LM はすでに実装例があるが、試してみたか。
 - 実装例は個人作成のものなので、JPCOAR として提供できるものを用意する必要があると考え模索中である。

3. JAIRO Cloud に関する近況報告（報告）

資料 5-1、資料 5-2 に基づき首東本部員から、アップデート状況、問い合わせ対応状況、JAIRO Crawler-List の更新、「JAIRO Cloud(WEKO3)の定期的な更新について」の利用機関向け案内に関する説明があり、次の質疑応答があった。

- ・ JAIRO Crawler-List の 10 月のテストがうまくいかなかった場合は、早めに知らせてほしい。JAIRO Crawler-List の更新は 2.0.0 のアップデートでリリースされるとのことだが 2026 年 4 月 1 日のリスト提供スタートに間に合うのか。
- ・ JAIRO Crawler-List は、JAIRO Cloud 利用機関以外も利用しているので、更新と影響についてアナウンスをする必要があり、早めに段取りしていきたい。
 - 10 月のテストを踏まえて、双方確認しながら進めていきたい。
- ・ JAIRO Cloud のアップデートの考え方の図は、どのように利用機関に共有されるのか。
 - メール送付やウェブサイト掲載などで周知していきたい。

4. 意見交換

資料 4 に基づき高橋本部長から趣旨説明があり、運用の見直しに向けて、次回、特に私立大学

や小規模大学の意見を伺うこととなった。

5. その他

高橋本部長から今後の今年度の予定として、コミュニケーションツールの決定や JAIRO Cloud のサービスレベルの検討、継続的な意見交換を行いたいことと、総会に向けて次年度の活動計画をたてたいという説明があり、次の質疑応答が行われた。

- ・ 次年度の活動計画には JPCOAR の方針が反映されると思われるが、次期活動方針検討タスクフォースでもまだ方針の決定には至っていないので両にらみで検討していくのではと考えているがどうか。
 - タスクフォースでは、方針という言葉で連想されるような、強い具体的な方針というより、このような編成でこのような枠組みというところからの検討を行っている。
- ・ 図書館総合展で、JC 共同運営本部としての登壇はあるか。
 - 今年度の予定はない。